

第39回 神無一族の氾濫

担当 神無七郎

☆今回の「氾濫」は自由出品。

短手数の方が難しく、長手

数の方が易しいという珍しい

事態になりました。

①Isardamばかり自殺スタイルメ

イト 10手

花井秀隆

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			科					
龍			飛					
				科				
桂	王							
	香				王			
				歩				
			龍					

持駒 角桂

64角、69飛生、72飛成、79角

73角成、68角成、57桂、79飛成
81龍、73龍迄10手

【Isardam (タイプA)】同種の敵駒の利きに入る手は(玉を取る手でも)禁手。

【ばかり自殺スタイルメイト】先後協力して最短路数で攻方をスタイルメイト(王手は掛かっていないが合法手のない状態)にする。

駒井信久―2手目以降はルーが最大限生かされる。64(55)角、19角、91角生、82香合、42飛生、36玉、28桂、83香、82飛生、28角生という紛れに惚れ込んでしまい、成る手が全く読めなかった。

☆攻方玉の下に香がある形。Isardam(こ)の形なら、香を発生させて自玉を動けなくするのが手筋です。その意

味で駒井氏が嵌った紛れはとても有力です。しかし、この手順では58歩の利きを止められませんか。持駒の桂は歩に蓋をするために必要なのです。香を発生させる筋がだめなら、68角を発生させて95に利かす筋しかないように思えますが：

須川卓二―68馬を存在させるため飛を移動させ角打のスペースを空ける序に感心。
☆2手目すぐに68角とせず、少し回り道をして68馬型にするのが妙手順。こうすると龍が作れるので、攻方玉の包囲網の形成と、94桂の封鎖(桂が82に成ると81龍の84への利きが消え、73龍の利きが有効になる)が同時に出来るのです。
作者―詰上りの竜と玉の関係

で攻方竜が動けなくなることに気づいたので作り直した。ただ、58歩と53桂の配置から、57桂と打つのがばればれないのがつらいです。

☆本作は第33回の「氾濫」の同氏作と一緒に投稿されたもの。当時よりIsardamの作例は増えていますが浸透度は今一つ。この佳作に正解者が少ないのは残念です。

②安東西ばかり自殺スタイルメイト 16手

神無太郎

4	3	2	1
		香	王

持駒 桂桂桂桂

29桂、26玉、27桂、35玉、21桂生、36飛、同香、同玉、48桂、47玉、39飛、48玉、

49 桂、同玉、22 桂生、39 玉
迄 16 手。

【安東西】味方の駒が横になるとその駒の利きになる。

市村道生—49 桂が最後の難関。美しく高品質の傑作。

☆形は簡素でも手順は実に贅沢な作品。性能変化ルール

に特有なスタイルメイトの実現法に「自ら行き所のない駒になる」という手段が

ありますが、桂は一・二段の両方で「行き所のない駒」

になるので、それを一局で 2 つとも発生させようとい

うのです。

須川卓二—合駒が飛か香かは最後に判明するんですね。

☆桂は一気に上段まで飛べないので、飛び道具の力を借

ります。最初に 37 香を利用するのは自明ですが、6 手

目の合駒は飛角香どれも有力そうに迷います。結局、

4 枚目の桂を 9 段目で取れるよう、飛合限定となるの

ですが、持駒桂一式に単なる装飾以上の意味を持たせる構成は、作者の手腕を示すものだと思います。

③強欲ばか詰 83 手
たくぼん

③強欲ばか詰 83 手
たくぼん

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				角			ス		一
				香				玉	二
						歩	ス		三
				我	ス		飛	馬	四
香	金		と	龍			歩		五
	香						桂	香	六
	歩	歩	ス		ス	桂	歩	香	七
桂		と	と	歩		香	香		八
		香	香	歩					九

持駒 なし

21 飛成、同玉、32 馬、同玉、
33 角成、同玉、44 龍、同玉、
54 と、同玉、46 桂、43 玉、

44 歩、同玉、45 歩、35 玉、
36 歩、46 玉、57 と、37 玉、

47 と、26 玉、37 と、16 玉、
17 香、同玉、27 と、同玉、

18 金、36 玉、37 歩、45 玉、
46 歩、同玉、47 歩、37 玉、

28 金、47 玉、38 金、同玉、
47 銀、同玉、56 銀、同玉、

66 と、同玉、67 歩、76 玉、
77 歩、86 玉、85 金、同金、

76 金、95 玉、85 金、96 玉、
86 金、97 玉、87 金、同玉、

98 金、77 玉、88 金、67 玉、
78 金、同玉、67 銀、同玉、

56 銀、同玉、57 歩、55 玉、
56 歩、54 玉、55 歩、53 玉、

54 歩、62 玉、53 歩成、61 玉、
51 香成、同玉、52 と迄 83 手。

【強欲】駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

橘圭伍—左右で同じ手順が繰り広げられて最終的に真中

で詰むという非常に美しい調和。

駒井信久—いきなりの大駒の 4 連切り、左右での同じ手順を経て、中央での詰上りと、趣向性がたつぷり。

☆本作の後半は実質小駒煙。

10 手目 35 玉の紛れを乗り切れば、空中をひらひら舞う強欲詰らしい手順が出て

きますが、驚くのはそれが左右で繰り返されること。

詰上りも左右対称で、無双 30 番を連想させます。

作者—狙いは詰上りと左右での似たような手順（趣向と

までは言えないですが）です。序はもう少し捻りたい

のですがなかなか余詰が強力で…

☆既に強欲ばか詰の煙を 40 作以上作ってきた作者。単に

煙るだけでなく、各作品に

明確な個性を与えており、

本作の主張も解答者にしつ

かり伝わっています。氏に

は「強欲煙100番」の作品集

を期待しましょう。

④キルケばか自殺詰 174手

橘圭伍

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
			金	香	香	金	金	歩	二
			香	王		桂			三
									四
									五
			歩	歩		香			六
			桂	桂		王			七
						桂		王	八
									九

攻方持駒 角角歩 18

受方持駒 なし

74角、53玉、54歩、同玉

／57歩、65角、63玉、74角

同銀／88角、64歩、53玉、

「63歩成、54玉、53と、同玉、

44角、63玉、64歩、54玉、

53角成、同玉／88角×16、

63歩成、同銀／67歩、

26角、同飛迄174手。

【キルケ】駒が取られると最

も近い将棋での指し始め位

置に戻される。(戻る駒の位

置と種類を／以下に表記)

☆ばか自殺詰に持駒歩18枚と

来れば持歩消去が定番。し

かし、本作はキルケです。

ある筋で歩を捨てると、そ

の歩が復活し、同じ筋には

歩は打てません。それを補

う手段がキルケ特有の「使

っても減らない角」。角を媒

介に6筋で打った歩を5筋

で捨てれば、持歩消去を繼

続できるので。後は銀を

74に呼ぶ伏線を見つけて無

事解決と思いきや…

某氏—あと4手ちぢめる手段

がどうしても浮かばず。

☆2手目同銀では178手より手

数が短縮できないのです。

弘光弘—7四角をすぐに取っ

てしまわないところがおも

しろい。

小峰耕希—序盤の10手が鍵。

85だけ銀なのがヒントにな

っている。

☆角を一旦残して歩を5筋で

捨て、時間差で角を74に捨

てるのが妙手順。このトリ

ックは作者が意図的に導入

したものです。全体的に

素直な手順の中で良いアク

セントになっています。

和田裕之—しばらく考えてた

ら持ち駒無しを忘れて銀連

合かと思ってしまった。

☆実は受方持駒制限はなくて

も同じ。これは投稿図通り

なのですが、却って迷われ

た方もいるかもしれません。

⑤ばか詰 327手

荻絵香木

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

15龍、44玉、14龍、55玉、

15龍、44玉、14龍、45玉、

「15龍、35歩、同歩、44玉、

14龍、35玉、17馬、36玉、

37歩、45玉、18馬、36歩、

15龍、44玉、14龍、35玉、

36歩、45玉、15龍、44玉」

(「A」)

14龍、55玉、56歩、同金、

15龍、44玉、14龍、45玉、

A、14龍、55玉、15龍、64玉、

65歩、同銀、14龍、55玉、

15龍、44玉、14龍、45玉、

A、14龍、55玉、15龍、64玉、

14龍、75玉、76歩、同銀、

15龍、64玉、14龍、55玉、

15龍、44玉、14龍、45玉、

A、14龍、55玉、15龍、64玉、

14龍、65玉、66歩、同金、

15龍、64玉、14龍、55玉、

15龍、44玉、14龍、45玉、

A、14龍、55玉、15龍、64玉、

65歩、同銀、14龍、55玉、

15龍、44玉、14龍、45玉、

A、14龍、55玉、56歩、同銀、

15龍、44玉、14龍、45玉、

A、14龍、55玉、15龍、64玉、

14龍、75玉、76歩、同桂、

15龍、64玉、14龍、55玉、

15龍、44玉、14龍、45玉、

A、14龍、55玉、15龍、64玉、

14龍、75玉、15龍、84玉、

85歩、同角、14龍、75玉、

15龍、64玉、14龍、55玉、

15龍、44玉、14龍、45玉、

A、14龍、55玉、15龍、64玉、

14龍、75玉、15龍、84玉、

14龍、95玉、96歩、同角、

15龍、84玉、14龍、75玉、

15龍、64玉、14龍、55玉、

15龍、44玉、14龍、45玉、

15龍、35桂、同歩、55玉、

34歩、44玉、36桂迄³²⁷手。

須川卓二―2種類の歩獲得装

置を使って1枚を得てその

都度、道を切り開いていく。

シンプルな工程ですがすこ

く楽しめました。

☆作者自身が「客寄せになれ

ば」と語るほど明快な構造

を持つ作品です。手順の骨

格となるのは「A」と表し

た20手で1歩を稼ぐ持駒増

幅機構。これで得られる歩

を上手に使って受方の駒配

置を変えていきます。(手順

中に太字で表記。)

市村道生―95桂捕獲の大作戦。

邪魔駒の整理・整頓が見事

に決まる。解図の醍醐味。

☆最終目的は95桂を消去して

桂合を可能にすること。桂

消去の邪魔になる四・五段

目の駒は、邪魔にならない

六段目に片付けます。

弘光弘―5四銀の動きがおも

しろい。

☆54銀は56に移動させたいの

ですが、56には金があります。

しかし54銀を動かさないと

この金は動かかせません。デ

ッドロックを避けるため、

銀をいったん76に待避する

のが本作最大の見所です。

吉田直嗣―歩入手の仕組みは

WFPで予習済みなので助

かりました。軽妙な駒の繰

り替え。

☆作者はこの持駒増幅機構を

使った257手の大作をWFP

63号に発表しており、先に

そちらを見た影響か、本作

に物足りなさを感じた方も

いたようです。WEBの閲

覧が可能な方は、ぜひその

作品もご鑑賞ください。

〔各題の正・誤・無解者数〕

①3012②3012③708

④726⑤708

〔解答成績〕(太字5名当選)

〔全題〕駒井信久、須川卓二

〔4題〕市村道生

〔3題〕小峰耕希、吉田直嗣

〔2題〕橋圭伍、弘光弘

〔1題〕神谷薫、占魚亭、

和田裕之

〔無解又はコメントのみ〕

市原誠、佐藤司、鈴木疆、

原雅彦、山本強志